

回 答 書

番号 6 高砂 朋子 議員

質問事項 2 高齢者福祉の充実について

(1) マイエンディングノートの活用について

マイエンディングノートの活用による終活への支援についてです。

エンディングノートは、自分に万が一のことが起きたときに備え、延命治療や終末医療の希望、葬儀、財産のことなど、家族や身近な人に伝えておきたい思いを整理し、まとめておくものです。

終活を希望される方が、エンディングノートを書くことで、家族やかかりつけ医などと話し合うきっかけにもなり、お亡くなりになられた際には、家族への負担軽減にもつながります。

このようなことから、本市では昨年3月に民間企業との協働により「防府市マイエンディングノート」を作成するとともに、昨年12月には、防府医師会と共催で開催した「緩和ケア」の市民研修会においても、エンディングノートを活用する利点について啓発を行ったところです。

本市のエンディングノートは、市民の皆様から好評をいただいていることから、本年3月には3,000部増刷し、高齢福祉課の窓口及び各公民館において無料配布をしていますので、ご活用いただければ幸いです。

今後も引き続き、高齢者の終活に対する情報の提供に努めてまいります。

(担当部署：健康福祉部高齢福祉課)

(2) 「エンディングプランサポート事業」について

「エンディングプランサポート事業」についてです。

ひとり暮らし高齢者が、亡き後の不安を解消されるため、あら

かじめ準備されることは、とても大切なことです。

「エンディングプランサポート事業」の先進地である横須賀市においては、ひとり暮らし高齢者を対象に、葬儀・納骨・リビングウィルといった終活相談を行政が受け、情報提供を行うとともに状況に応じて、関係機関や協力事業者と連携し、終活における課題の円滑な解決を行う事業が行われています。

現在、本市では、終活に関する相談は、弁護士、司法書士による無料相談会や地域包括支援センターなどで行っており、新年度においては、成年後見制度の適切な利用に向け、中核機関設置の準備を進めることとしており、こうした中で横須賀市をはじめ、他の自治体の取り組みも参考にさせていただきながら、ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるように努めてまいります。

(担当部署：健康福祉部高齢福祉課)